

環境経営レポート

令和1年度(第48期)

(対象期間:令和1年8月～令和2年7月)



発行日:令和2年11月16日

 **TOUEI**
DENKIKOUJI

藤榮電気工事株式会社

目次

1. 組織の概要	1
2. 認証・登録の対象範囲	1
3. 環境経営方針	2
4. EA21 実施体制	3
5. 環境経営目標	4
6. 環境経営計画	5
7. 環境経営目標の実績	6
8. 環境経営計画の取組結果と その評価、次年度の取組内容	7
9. 環境経営計画に基づき 実施した取組(写真)	8
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果並びに違反、訴訟等の有無	9
11. 代表者による全体評価と見直しの結果	9

1. 組織の概要

<p>1) 事業所名 代表者氏名</p>	<p>とうえい 藤榮電気工事株式会社 代表取締役 藤瀬 浩幸</p>												
<p>2) 所在地</p>	<p>〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神五丁目5番5-1号</p>												
<p>3) 環境管理責任者 担当者 連絡先</p>	<p>営業部/部長 岩崎 裕時 省エネ環境事業部/部長 富山 寛之 TEL092-721-5155 FAX092-721-5169 Eメールアドレス toeidenki@kind.ocn.ne.jp ホームページ http://toei-denki.com/</p>												
<p>4) 事業の内容</p>	<p>電気工事業 (建設業許可番号 : 福岡県知事許可 (特-1) 第20017号)</p>												
<p>5) 事業の規模</p>	<p>売上額:6億4,902万円(第48期 R01.8~R02.7)</p> <table border="1" data-bbox="539 1256 1080 1413"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>本社</th> <th>事務所倉庫</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>従業員数</td> <td>人</td> <td>25</td> <td>無人</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>m²</td> <td>188</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table>		単位	本社	事務所倉庫	従業員数	人	25	無人	延床面積	m ²	188	22
	単位	本社	事務所倉庫										
従業員数	人	25	無人										
延床面積	m ²	188	22										
<p>6) 事業年度</p>	<p>8月~翌年7月</p>												

2. 認証・登録の対象範囲

<p>上記の全組織及び全活動 1) 対象事業所</p>	<p>本社</p>
<p>2) 事業活動</p>	<p>上記の事業内容</p>

環 境 経 営 方 針

藤栄電気工事株式会社は、電気設備工事業の活動を通じて、社会の関心が高い環境問題に全社一丸で取り組み、環境改善を継続的に推進し、社会に貢献致します。

1. 事業活動に伴う環境への負荷を削減するために、以下の環境への取り組みを行います。
 - (1) 社内の電気の省エネルギーを推進して、二酸化炭素排出量を削減します。
 - (2) 車両等のエコ運転に努めて燃料を削減して、二酸化炭素排出量を削減します。
 - (3) 廃棄物の発生抑制・削減・リサイクルを推進します。
 - (4) 節水により水使用量を削減します。
 - (5) 事務用品のグリーン商品購入を推進します。
 - (6) 環境に配慮した省資源、省エネ提案に努めます。
2. 当社の事業活動において、関連する環境関連法規等を遵守します。
3. 環境活動レポートを作成して公表することで、環境コミュニケーションを推進します。
4. この環境方針を全社員に周知し、環境負荷の低減に対する意識向上に努めます。

制定日 平成28年 8月25日

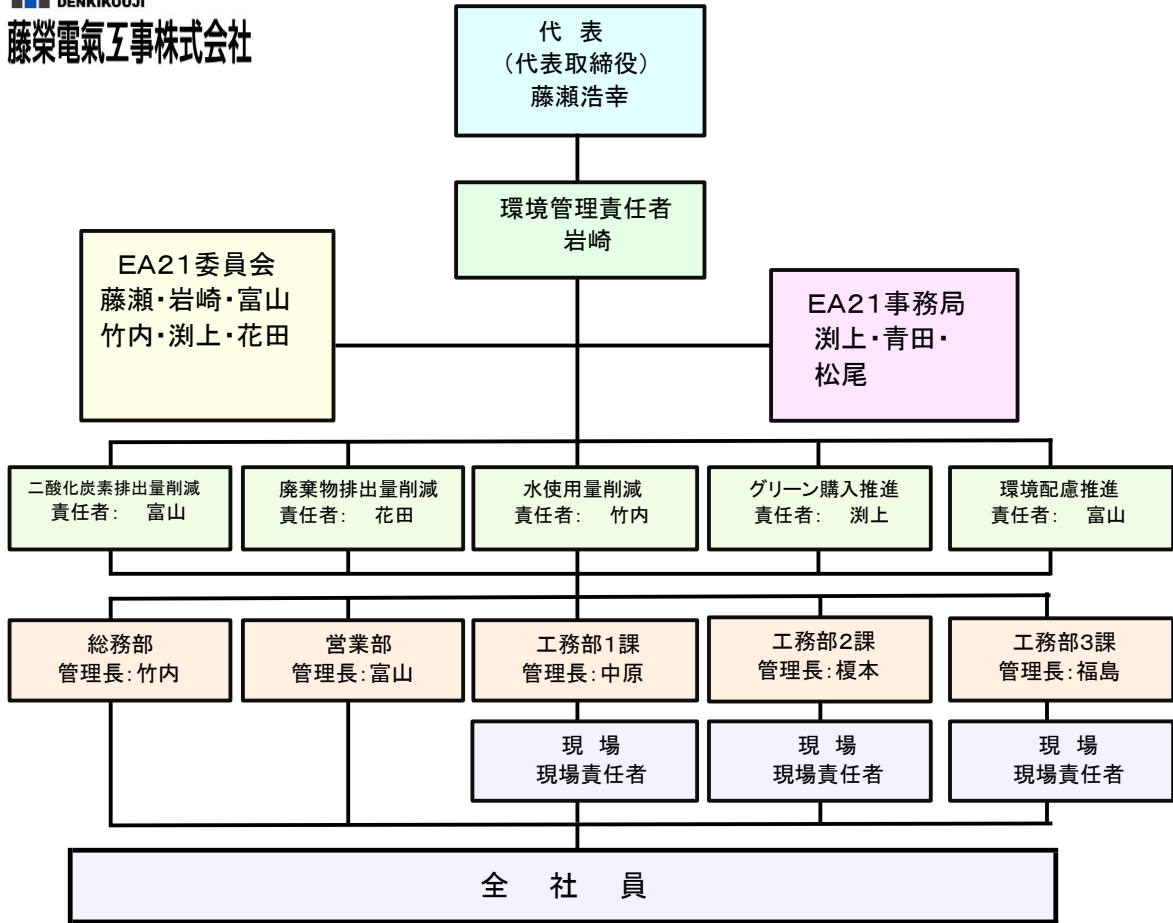


藤栄電気工事株式会社

代表取締役 藤瀬 浩幸

4. EA21 実施体制

作成日	改訂日	責任者	作成者
H28.8.25	R2.4.1	岩崎	岩崎



役割分担表

所属	役割・責任・権限
代表	<ul style="list-style-type: none"> 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ。 環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する。 環境管理責任者、EA21事務局員を任命する。 環境への取組を実施するための資源(人・もの・金)を準備する。 EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築・実行し、環境実績を向上させる。 毎年、環境経営目標、環境経営活動計画を作成する。 3か月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営活動計画の実施状況を確認・評価する。 上記の結果を代表者に報告する。
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> 3か月に1回開催し、環境経営目標及び環境経営活動計画の実施状況を審議する。
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う。 社外からの環境情報の収集と伝達を行う。
活動項目責任者	<ul style="list-style-type: none"> 担当活動に対し、具体的活動項目の設定を行う。 設定した活動に対し、率先してその活動を行うと同時に管理長へ依頼を行い、全社員の活動遵守又は活動推進の徹底に努める。
管理長	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針、環境経営目標、環境経営活動計画を部門全員に周知する。 環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境経営活動を推進する。 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する。 自部門に関連する法規制等を順守する。 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する。 自部門の教育・訓練を実施する。
全社員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

5. 環境経営目標 (活動期間: R01年8月～R02年7月)

環境目標	サイト区分	単位	基準年	目標						
			H27年度	H28年度(1%削減)			H29年度(2%削減)	H30年度(3%削減)	R01年度(4%削減)	
				試行期間(3ヶ月)	今期残期間(8ヶ月)	合計(11ヶ月)				
			H27年8月～H28年7月	H28年9月～H28年11月	H28年12月～H29年7月	H28年9月～H29年7月	H29年8月～H30年7月	H30年8月～R01年7月	R01年8月～R02年7月	
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂	46,019	11,390	30,373	41,762	45,099	44,638	44,178	
① 電気使用量の削減	事務所	kWh	21,057	5,212	13,897	19,109	20,636	20,425	20,215	
② ガソリン使用量の削減	事務所	L	3,091	765	2,040	2,805	3,029	2,998	2,967	
③ ガソリン使用量の削減	現場	L	11,382	2,817	7,512	10,329	11,154	11,041	10,927	
2	① 一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	1,720	426	1,135	1,561	1,686	1,668	1,651
	② 産業廃棄物排出量の削減	現場	kg	700	173	462	635	686	679	672
3	① 水使用量の削減	事務所	m ³	87	21.5	57.4	79.0	85.3	84.4	117.9
4. グリーン購入の推進	事務所	購入率(%)	83	84	84	84	85	85	86	
5. 省資源・省エネ型施工の提案 及び省エネ関連研修会への参加	全社	提案件数	14	4	10	14	14	14	15	
	全社	研修会参加回数	10	3	7	10	10	10	10	



備考

- 購入電力の二酸化炭素実排出係数は、0.584kg-CO₂/kWh(九州電力 平成26年度)を使用した。
- 令和1年度の水使用量は社員数増に伴い訂正(見直し)しております。(H27年度17人→R01年度24人 人数換算で基準年より4%は削減)





6. 環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目		部門（責任者）	備考
電気使用量削減	エアコン設定温度を決め、実行する	富山	
	使用していないパソコン電源を切る	富山	
	昼休み時間の消灯	富山	
	トイレの照明は使用時のみの点灯とする	富山	
	空調機フィルターの定期清掃（年1回）	富山	
ガソリン使用量削減（事務所）	アイドリングストップ	富山	
	急発進・急加速・急減速の禁止	富山	
	不要な荷物は積まない	富山	
	空気圧の適正確認チェック（1ヶ月1回）	富山	
	ふんわりアクセルエコスタート	富山	
	カーエアコンの適切な使用	富山	
	早めのアクセルオフ	富山	
ガソリン使用量削減（現場）	アイドリングストップ	富山	
	急発進・急加速・急減速の禁止	富山	
	不要な荷物は積まない	富山	
	空気圧の適正確認チェック（1ヶ月1回）	富山	
	ふんわりアクセルエコスタート	富山	
	カーエアコンの適切な使用	富山	
	早めのアクセルオフ	富山	

2. 廃棄物排出量削減

活動項目		部門（責任者）	備考
一般廃棄物排出量の削減	分別によるリサイクルの推進	花田	
	コピー用紙裏紙の利用	花田	
産業廃棄物排出量の削減	分別によるリサイクルの推進	花田	
	転用可能な資材の活用	花田	

3. 水使用量削減

活動項目		部門（責任者）	備考
節水活動	節水ラベルの貼付	竹内	
	節水コマの取付	竹内	
	水の出しっぱなしをしない	竹内	

4. グリーン購入推進

活動項目		部門（責任者）	備考
グリーン商品の購入率アップ	グリーン商品（事務用品）の購入	湊上	

5. 環境配慮の推進

活動項目		部門（責任者）	備考
省資源・省エネの提案	LED照明・太陽光発電の提案	富山	
	省エネ関連の研修会への参加	富山	

7. 環境経営目標の実績

活動期間：R01年8月～R02年7月

環境目標	サイト	単位	基準年 (H27年度)	R01年8月～R02年7月(12ヶ月)			
				目標	実績	差異	結果の評価
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂	46,019	44,178	37,258	-6,920	目標は、達成しているが、昨年より1,445kg増加の結果となった。
① 電気使用量の削減	事務所	kWh	21,057	20,215	19,685	-530	目標は、達成しているが、昨年より942kwh増加の結果となった。社員の節電意識は継続できている。
② ガソリン使用量の削減	事務所	L	3,091	2,967	2,061	-906	目標も達成し、昨年より374L削減できた。エコドライブの意式も継続できている。
③ ガソリン使用量の削減	現場	L	11,382	10,927	9,045	-1,882	目標は達成しているが、昨年より802L増加している。エコドライブの意式は継続できている。
① 一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	1,720	1,651	1,237.4	-414	目標を達成しております。今後も継続して削減に努めます。
2 ② 産業廃棄物排出量の削減	現場	kg	700	672	1,040	368	今年度の産廃処理は事務所のみで、目標値より368kg上回る数値となりました。昨年は事務所の排出量は520kg前後だったため、例年の2倍近い量を排出しています。
3 ① 水使用量の削減	事務所	m ³	87	117.9	112.0	-6	人数を考慮しての目標数値の設定に変更したことにより、目標を達成しております。今後も節水に心掛けていきたいと思っております。
4. グリーン購入の推進	事務所	購入率(%)	83	86	69	17	グリーン商品の購入意識は以前より高くなっていると思いますが、コロナウイルスへの対策として非グリーン商品のペーパータオルを定期的に購入したり、デスクマット等イレギュラーなものの購入が重なり、グリーン商品の購入“率”としては、低下という形になってしまったかなと思います。
5. 省資源・省エネ型施工の提案 及び省エネ関連研修会への参加	全社	提案件数	14	15	21	6	目標は達成できているが、今後は売上に繋げられるようより適切な提案を実践する。
	全社	研修会参加回数	10	10	7	-3	WEB研修会を有効活用し、知識と情報を強化しより最適な提案を実践する。

備考

- 購入電力の二酸化炭素実排出係数は、0.584kg-CO₂/kWh(九州電力 平成26年度)を使用した。
- 令和1年度の水使用量は社員数増に伴い訂正(見直し)しております。(H27年度17人→R01年度24人 人数換算で基準年より4%は削減)



8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目		実施状況				年間の評価	次年度における取組内容
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
電気使用量削減	エアコン設定温度を決め、実行する	○	○	○	○	電気使用量に関しまして12月～3月まで目標未達となっているため、冬季の更なるエアコン温度、使用時間の改善が求められる。月平均社員数が2.2名増加しているため、前年より使用量942kwh増加は、1名当たりの使用量に換算すると3.2kwh削減できている。ガソリンに関しては、前年同様、空気圧の適正確認が不十分な結果となってしまった。現場の802Lガソリン使用量の増加は月平均人数が1.25名増加しているため、1名当たり換算すると1.7L前年より削減できている。	冬季のエアコン温度設定と使用時間の意識を高め、更なる電気使用量削減を実施し、月に1度の空気圧の適正確認を実施し、更なるガソリン代削減に取り組むことが二酸化炭素排出量削減に直結すると考えます。また、本年12月より事務所の電気を自然電力の再生エネルギー100%に切り替えるため、更なる二酸化炭素排出量削減が見込めます。
	使用していないパソコン電源を切る	○	○	○	○		
	昼休み時間の消灯	○	○	○	○		
	トイレの照明は使用時のみの点灯とする	○	○	○	○		
	空調機フィルターの定期清掃（年1回）	○	○	○	○		
ガソリン使用量削減（事務所）	アイドリングストップ	○	○	○	○		
	急発進・急加速・急減速の禁止	○	○	○	○		
	不要な荷物は積まない	○	○	○	○		
	空気圧の適正確認チェック（1ヶ月1回）	△	○	△	△		
	ふんわりアクセルエコスタート	○	○	○	○		
	カーエアコンの適切な使用	○	○	○	○		
	早めのアクセルオフ	○	○	○	○		
ガソリン使用量削減（現場）	アイドリングストップ	○	○	○	○		
	急発進・急加速・急減速の禁止	○	○	○	○		
	不要な荷物は積まない	○	○	○	△		
	空気圧の適正確認チェック（1ヶ月）	○	○	△	△		
	ふんわりアクセルエコスタート	○	○	○	○		
	カーエアコンの適切な使用	○	○	○	○		
	早めのアクセルオフ	○	○	○	○		

2. 廃棄物排出量削減

活動項目		実施状況				年間の評価	次年度における取組内容
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
一般廃棄物排出量の削減	分別によるリサイクルの推進	○	○	○	○	産廃については、特に照明器具の数が多かったため、あまりを出さないように各現場注意が必要です。またコピー用紙についてもミスプリントが目立つため数を減らす行動が必要です。	照明器具などの持ち帰りを減らす、不必要なものは事務所へ持ち込まず現場で処理する。ミスプリントを減らすことを目標に取り組みます。
	コピー用紙裏紙の利用	○	○	○	○		
産業廃棄物排出量の削減	分別によるリサイクルの推進	×	×	×	×		
	転用可能な資材の活用	○	×	○	×		

3. 水使用量削減

活動項目		実施状況				年間の評価	次年度における取組内容
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
節水活動	節水ラベルの貼付	○	○	○	○	節水意識もあり、また年間を通して問題発生も無かったので、目標達成が出来て良かったと思います。	節水意識向上やお茶出しの中止等、今迄の活動は継続する共に、目標数値をより良い数値に出来るように、不注意等による問題が起きないように気をつけていきたい。
	節水コマの取付	○	○	○	○		
	水の出しっぱなしをしない	○	○	○	○		

4. グリーン購入推進

活動項目		実施状況				年間の評価	次年度における取組内容
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
グリーン商品の購入率アップ	グリーン商品（事務用品）の購入	○	○	○	○	非グリーン商品を購入していたもので、グリーン商品に変更できるものがないか検討を積極的に行い、グリーン商品の購入率アップに努めました。	引き続きグリーン商品への変更検討と、無駄な備品の購入の削減も、社員全員で意識して行っていただきたいと思います。

5. 環境配慮の推進

活動項目		実施状況				年間の評価	次年度における取組内容
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
省資源・省エネの提案	LED照明・空調改修の提案	○	○	○	○	上期研修会の参加が未達となっていました。来季もコロナ禍の中、WEB研修会が増加すると予測されるため、効率的な参加を心掛ける。	積極的にWEB研修会へ参加し、インプットした知識、情報を省エネ提案でアウトプットし、業績に繋げるサイクルを確立する。
	省エネ関連の研修会への参加	×	×	○	○		

○：実施できた △：十分とは言えなかった ×：不十分であった

9. 環境経営計画に基づき実施した取組(写真)

R01.11.16 H30年度全体会議



R02.01.21 第1回委員会



R01.12.07 防災訓練(火災)



R02.04.18に予定していましたが、3つのRの再認識(講師:中垣 洋様)につきましては新型コロナウイルスの影響により、来年度に延期いたしました。

R02.04.02 第2回委員会



R02.07.02 第3回委員会



R02.10.01 第4回委員会



出席者の皆さま 1年間 お疲れ様でした。次期1年間もよろしくお願ひします。委員会メンバー新します。新メンバーの方今後よろしくお願ひします。

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動、製品及びサービスに適用される環境関連法規等は次のとおりです。

適用される法規等	適用される事項(施設・物質・活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理
自動車リサイクル法	使用済自動車の引渡義務
家電リサイクル法	排出事業者及び消費者の責務
下水道法	排除基準の順守

R02年8月に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

平成27年度から取り組んできたこの活動も5年目を迎えました。この5年間で
の環境変化にも柔軟に対応し活動を継続できたのは、ひとえに委員会メンバーの
真面目な取組のおかげだと感謝しております。

本年度の全体評価としては概ね計画を達成できたものと思っておりますが改善や今
後検討すべき問題もいくつかあります。

特に産業廃棄物に関しては計数が大きく悪化しています。

主な要因としては現場で発生した残材の処分によるものと思われま。

これは材料手配の段階から無駄を省き必要数量のみを購入することにより大きく
改善できるものです。会社事業上も改善しなければいけないことで、社員の意識
改革を含め今後の重要な取組課題だと考えます。

また常にお願しているところではありますがこの活動を委員会メンバーから全
社員に周知していくことが大切だと思います。社内掲示の活用など見える化を図
ることも有効ではないでしょうか。

次年度もさらに有意義な活動を推進していきましょう。